



阿賀町立三川小学校学校だより

みかわっ子

平成29年 7 月 24 日



↑【修学旅行で訪れた佐渡で、行谷小の児童からトキの説明を聞く6年生】

【阿賀町子ども未来フォーラムで他校の児童と話し合う6年生】→



本物になろう

校長 栗林 操

三川小・中学校の子どもたちに育てたい資質・能力の一つに、「主体性・積極性」があります。自分で考える、考えたことを相手に伝える、よいと思ったことをまわりと協力しながらやってみる・・・子どもたちにはこんな姿を求めています。そのために当校では、授業や様々な活動の中で、考え、話し合うことに力を入れて取り組んでいます。加えて、子どもたちの主体性・積極性を育てる場として、「様々な人との関わり」を大切にしています。今年度6年生は、修学旅行で訪れた佐渡でトキをテーマに学習し、えさ場となるピオトープづくりや観光ガイドの活動に取り組んでいる行谷小学校の児童と交流を行いました。『一生懸命話を聞いてくれてうれしかった。質問もいっぱいしてくれた。』・・・行谷小学校の5名の6年生は、喜びと驚きでいっぱいだったとお聞きしました。また、先日は町内全小学校の5・6年生と「阿賀町子ども未来フォーラム」で、将来の阿賀町について意見交流を行いました。このように学校の内と外、両面からの働きかけで、子どもたちの主体性や積極性が育っていくものと考えています。

さて、明日から子どもたちは35日間の夏休みに入ります。自分で時間の使い方を考えて安全に過ごす、自分から勉強する、調べたいことややりたいことに挑戦する・・・まさに子どもたちが主体性・積極性を発揮する時です。本日の終業式で、「本物になろう」という話をしました。自分から考え、行動する子どもたちの姿に期待しつつ、家庭や地域で見守っていただきますようお願いいたします。

ふるさとを思い、互いにかんばっていこう！

佐渡・行谷小学校の6年生からトキの森公園を案内してもらいました。

「トキよ、再び大空へ」・・・これは佐渡島民の長年の願いです。トキの森公園のすぐ近くにあり、以前に学校でトキを飼育したこともある行谷小学校は、総合学習でトキについて学んでいます。多くの人にトキに関心をもってもらいたいという願いから、観光で訪れた人にトキのことを紹介する活動に取り組んでいます。今年度の行谷小の6年生は5人、全員が5グループに分かれた三川小の6年生を案内してくれました。

私はトキを初めて間近で見ました。双眼鏡で見ると羽がとてもきれいでした。行谷小の人が羽が白いのが子ども、黒いのが大人のトキと教えてくれました。資料館には日本最後のめすのキンとおすのミドリのはく製がありました。キンのはく製を見たとき、今にも動き出しそうでした。とてもすごかったです。

本物のトキを初めて見て感動しました。展示室には、トキの骨、はく製、卵、羽がありました。実際に羽に触れてとてもうれしかったです。他にもトキは雨の日が好きということなど、初めて知ったことがたくさんあり勉強になりました。行谷小のみなさんにはこれからもたくさんの人にトキを知ってもらえるよう、がんばってほしいと思います。

行谷小学校のみなさんは、トキの数が減ったことやトキのえさのことをクイズにして分かりやすく教えてくれました。トキは肉食性でドジョウやカエルが好物です。佐渡では田んぼにこれらの生き物が住めるように、自然を大切にしていることも知りました。

他にも訪れた場所で、分かったことやその時の思いをしっかりと書き留めている姿がとても印象に残った修学旅行でした。思いっきり学び、思いっきり楽しみました。

私たちが住んでいる阿賀町と佐渡では、違う所がたくさんありました。佐渡は海に囲まれていて、海産物やたらい舟があります。阿賀町には海がないので、それらはとても貴重な体験でした。でも、佐渡と阿賀町には共通しているところがあります。それは、人がやさしいところだと思います。訪れた場所で、色々な人が私たちにやさしく声をかけてくれました。それは阿賀町ととても似ていました。

また、この修学旅行では、いつもは見れない友達の意外な一面を見つけることができました。友達との距離がぐっと縮まったような気がします。



◆◆ 森と川・・・三川の自然を体いっぱい感じた5年生自然教室 ◆◆

三川小学校の自然教室は、三川が舞台です。1日目は、中ノ沢渓谷森林公園の散策と木工体験、ふるさと学習館での野外炊事とレクリエーション、2日目は阿賀野川でカヌー体験をしました。

自然教室の前に、総合の学習で中ノ沢の森林公園に行きました。その時、明石さんから松の赤ちゃんのことを教えてもらいました。まつぼっくりの皮の中に種があって、それが風に飛ばされて土の中から芽が出るのです。松の赤ちゃんはとても小さかったです。自然教室では、木工体験でやじろべえとキツツキの置き物を作りました。大変だったけど楽しかったです。阿賀野川ではB&Gのみなさんから、カヌーを教えてもらいました。最初やり方がわからなかったけど、やっていくうちにとても楽しくなりました。バナナボートにも乗せてもらいました。川もそこから見える山もとてもきれいでした。



過去の教訓に学び、命の大切さを考えよう

・・・羽越水害復興50年 防災学習会

50年前の羽越水害の教訓に学び、これから自分たちは命を守るために何をしていく必要があるのかを考える防災学習会が行われました。当時の写真や映像を見て、降雨体験車で大雨の危険性を体験しました。1年生から6年生まで、地域で起こったことをしっかり受け止め、自分のこととして真剣に学びました。一人一人が書いたものを返却しますので、それを家族で読んで、ぜひ命の大切さについて話し合ってください。



きょうの大雨のたいけんで50年前もこういうことがあったんだなとおもいました。すごくこわかったです。

(2年)

180ミリを体験したとき、雨でもう前が見えなくなりました。じっさいの時は、にげられなくなるかもしれません。大雨のこわさがわかりました。(3年)

大雨は川をはらんさせる危険があり、水害はたくさんの人のいのちをうばっています。大雨がふったら川や山に近づかないこと、自分が住んでいるところの地形を頭に入れておくことが大切だということがわかりました。これからも、自分の命は自分で守っていきたいです。

(4年)

*** 子どもの対話を大切に ***

6月に行われた下越地区のPTA研修会に、当校から2名出席していただきました。講師は、テレビ等で活躍している横澤夏子さんのお母さんの富士子さんです。「子どもも大人も自己表現 ～今できること、今気がつくこと～」という演題で行われた講演会に参加された方の感想を紹介します。

1番心に残ったことは“上手に聴くコツ”です。横澤さんは4つのポイントを挙げられました。

① 黙って聴く ② うなずきながら聴く ③ やさしさと思いやりをもつ ④ 相手の気持ちを聴く これらのことを思いながら子どもの気持ちを聴くことが大切なんだなあと痛感させられました。今回の研修会では、子どもとの接し方・話の聴き方を学び、今できること、今気がつくことから取り組んでいこうと思います。

夏休み、家族との触れ合いの時間が多くなります。子どもとの対話が、子どものやる気を起こすエネルギーになります。たくさん話をしてください。

なお、心配なことや気になることがありましたら、いつでも御相談ください。



ALTの先生が7月末で離任されることになりました。

5・6年生の外国語活動を中心に、全学年に英語の楽しさを教えていただきました。ありがとうございました。



これからの主な行事予定

- 7月25日(火) 夏季休業(～8月28日) 個人懇談会 B&Gプール開放
26日(水) B&Gプール開放
27日(木) 個人懇談会 B&Gプール開放
28日(金) 個人懇談会 B&Gプール開放
8月 1日(火) わくわく科学体験 9:30 阿賀町公民館 B&Gプール開放
2日(水) B&Gプール開放
3日(木) おもしろ学習デー 9:00 阿賀町公民館 PTA文教部会 19:00
14日(月) 学校は閉庁となります。(～15日)
25日(金) サマースクール *通常通りの登校です。下校11:10 応援団12:20
27日(日) PTA小中合同奉仕作業 7:30～8:40 *御協力をお願いします。
28日(月) サマースクール(日程は25日と同じ)
29日(火) 2学期始業式 全校5限授業 下校14:55
9月 2日(土) 三川小・中学校合同運動会 8:30～15:00 (予備日:3日(日))
*多くの皆様の御来校をお待ちしています。

* 保護者や地域の皆様、地域行事やラジオ体操、プール等で子どもたちが大変お世話になります。地域全体で見守ってくださることに感謝申し上げます。

